



福祉 × 交通 × まちづくり
TAMANOモビリティ

デイサービス送迎委託から始まる外出支援サービス

“ちょっくら”

TAMANOモビリティ構想

TRモビリティ

(R7.6月設立)

送迎委託＋介護タクシー事業によって
地域の課題解決を実現する会社

*岡山トヨタ＋アール・ケア
が共同で設立する新会社

事業内容

共同送迎

介護
タクシー

運営
サポート

豊かな
暮らし
づくり

共同送迎

2種免許＋介護資格を有するプロドライバーが行うデイサービスの送迎業務委託により介護事業者が抱える課題解決を実現

[課題]人手不足、事故リスク、非効率な運営

介護 タクシー

シーバス、シータク、一般タクシーでは移動困難な要支援・要介護者の移動手段として日常から非日常までの活動範囲・活動量のアップによりWellbeingな暮らしを実現

運営 サポート

社員教育、施設管理、備品購入など運営コストの削減を実現

豊かな 暮らし づくり

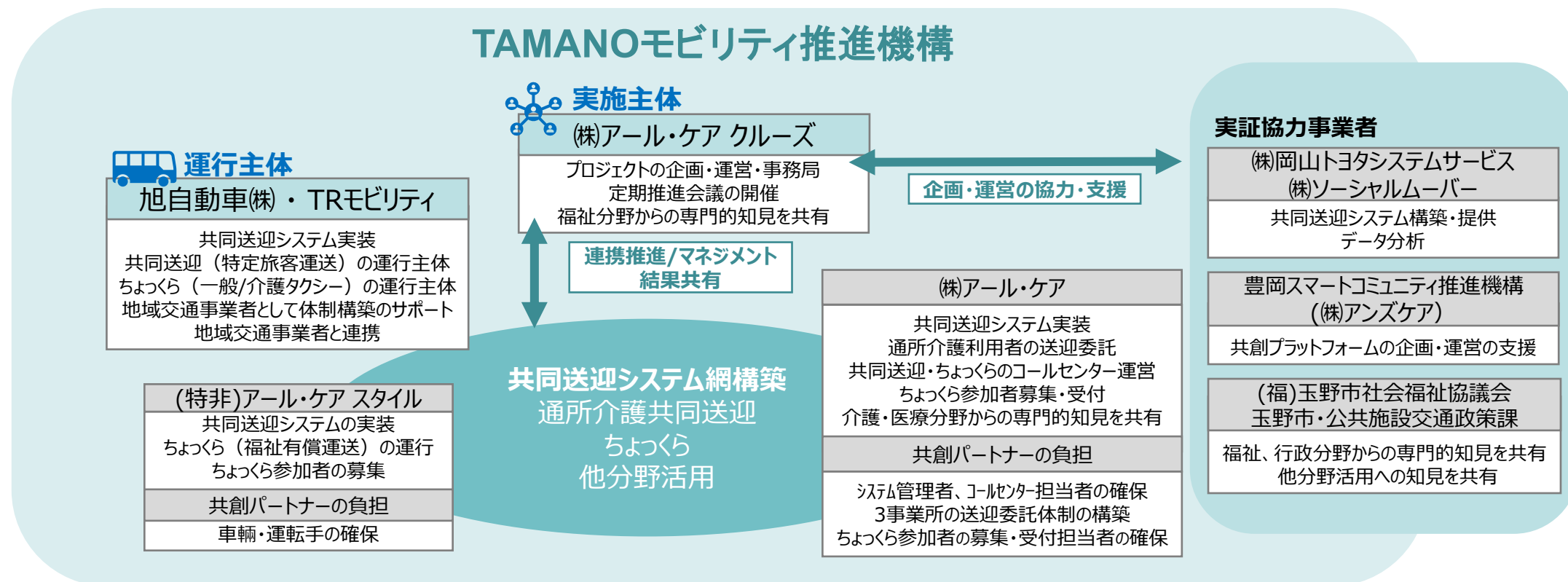
交通課題と機会損失の解消によって活動範囲・活動量の改善を図り、要支援・要介護者および予備軍である高齢者の健康増進を実現

将来的には高齢者に限らず通学、塾やスポーツクラブへの共同送迎などによって小中高生を有する家庭の課題解決により、地域の人手不足の課題解決の実現を目指す

実証事業の概要

採択事業名	令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト 共創モデル実証運行事業（国土交通省 地域公共交通確保維持改善事業費補助金）
共創プラットフォームの名称	TAMANOモビリティ推進機構
共創プラットフォームの活動目的・内容	福祉事業者と交通事業者が連携し、 特定旅客運送による通所介護の共同送迎 と、 一般タクシー、介護タクシー、福祉有償運送による高齢者外出支援サービス“ちょっくら” を実施する。共同送迎では複数の通所介護事業所の利用者混乗により経営課題（非効率な送迎ルート、送迎事故リスク、専門外業務による離職、人手不足等）の解消を、外出支援では非通所日の外出機会と経済循環の創出を実証する。学校統廃合が進む地域の子供たちの学童保育や習い事への送迎を実施し、他分野展開を実証する。
地域交通にもたらされると想定する効果	デジタル送迎網の構築と高齢者外出支援サービスによって、 既存の公共交通網に存在するスキマを補完 することで、どんな年齢や身体状況であっても移動に不安を抱えることのない地域交通網が構築できる。また高い利便性や顔なじみの関係等によって利用者の能動的な外出回数を増やし、運行事業者の収益基盤と新規参入基盤を構築する。外出機会の反復により獲得される自信や心身機能により、他の交通手段への利用促進が期待され、既存の公共交通網の活性化に貢献出来る。業界が盛り上がれば他分野への展開・応用の余力が生まれ、学校統廃合が進む地域の子供たちの移動手段等の創出が可能となる。

共創プラットフォーム関係図



実証事業の取組み

1. デイサービス3事業所の共同送迎
2. 非通所日の外出移動支援（一般タクシー、介護タクシー、福祉有償運送）
3. 他分野展開（学童、学習塾、スポーツクラブなど）

実施スケジュール

第1回
推進会議

8月

9月

10月

11月

12月

1月

第2回
推進会議

2月

3月

【8月～2月末】 デイサービス共同送迎実証

TRモビリティ（特定旅客運送）



【9月～11月末】 外出移動支援“ちょっくら”



旭自動車（一般タクシー）
9時～17時（仮）

TRモビリティ（介護タクシー）
10時30分～13時30分（仮）



アール・ケアスタイル（福祉有償運送）
9時～17時（仮）



【12月】
多分野
実証
（TRモビ）

16時～17時
（仮）

【8月～11月末】 他分野実証参加者募集



参加対象者： 要支援・要介護認定をお持ちの方
アール・ケアデイサービス利用者 + α
利用時間： 9時～17時（介護タクシーは別設定）
利用エリア： 玉野市内を想定
利用料金： 無料（アンケート協力あり）

リハビリ特化型デイサービス



アール・ケア

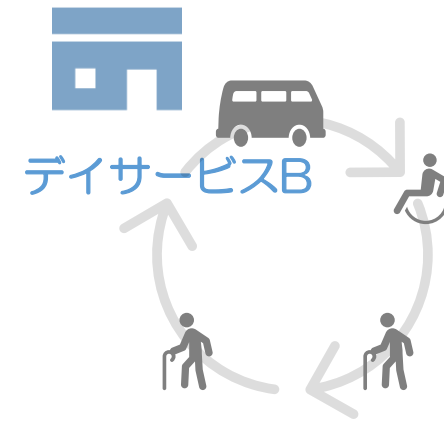
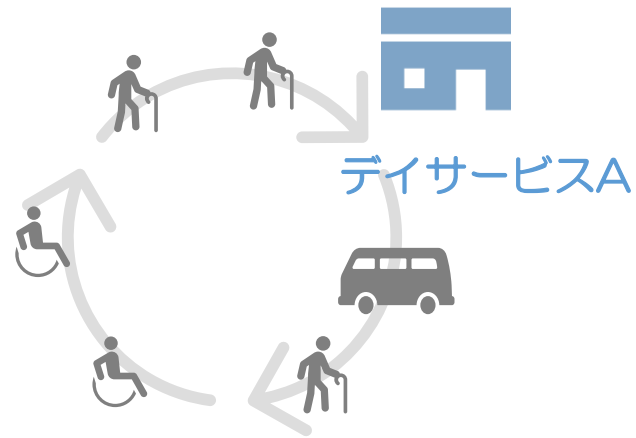
挑戦はまっ先に。サービスはまっすぐに。

旭自動車(株)
TRモビリティ*

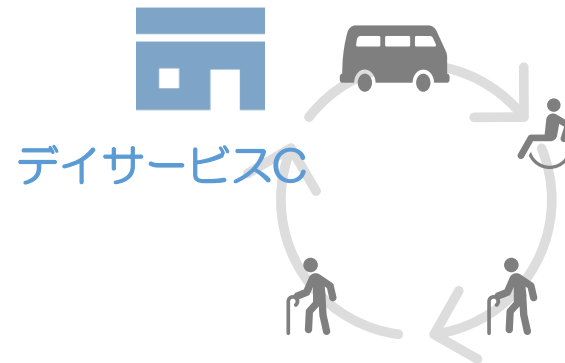
● デイサービスご利用中の流れ



送迎委託実証実験モデル



一般的なデイサービス送迎

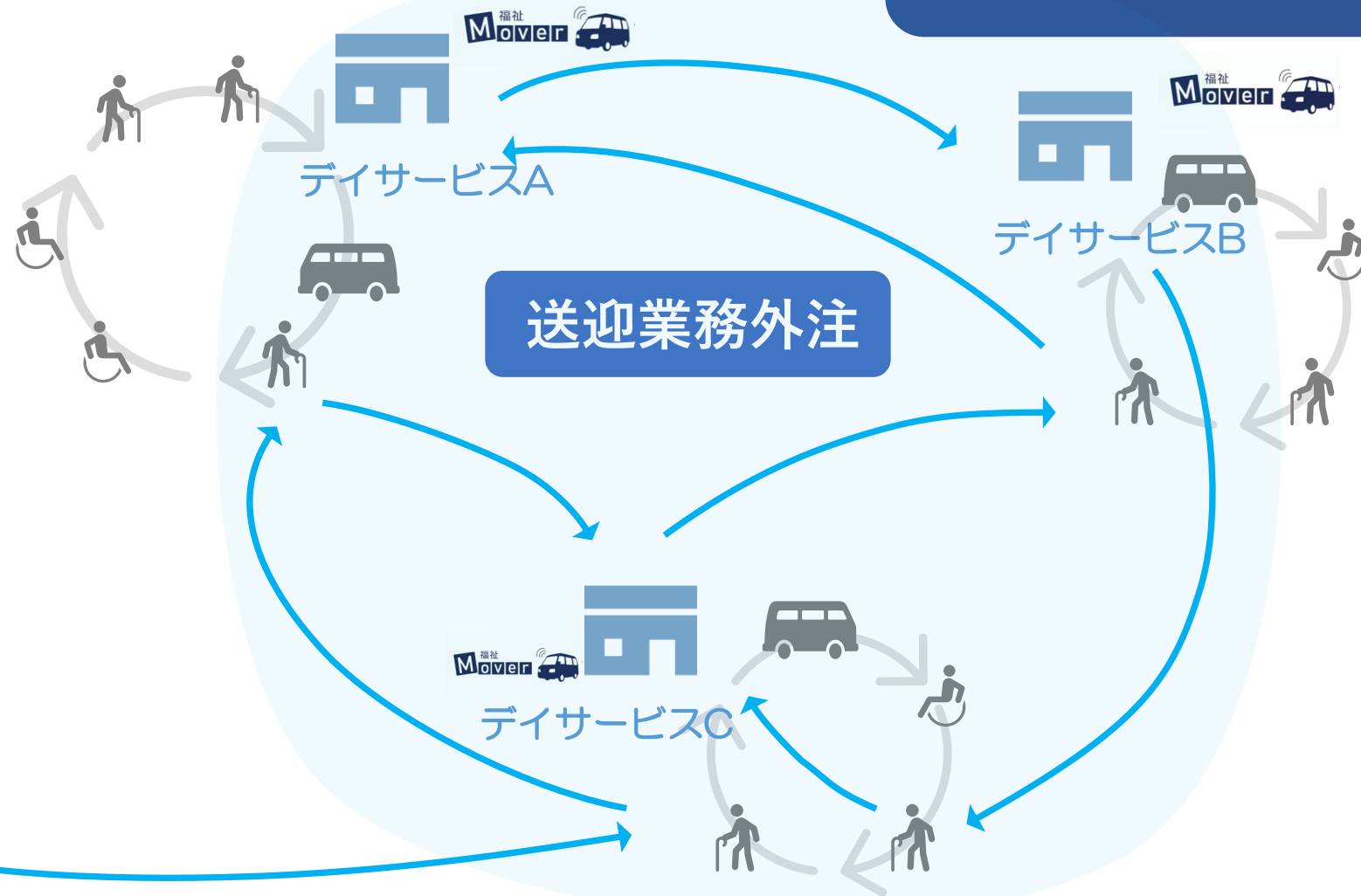


送迎委託実証実験モデル（通所日）

モビリティ カンパニー (TRモビリティ)

- 車両運行
- システム代理店
- マッチング
- マネジメント

福祉デジタル送迎網



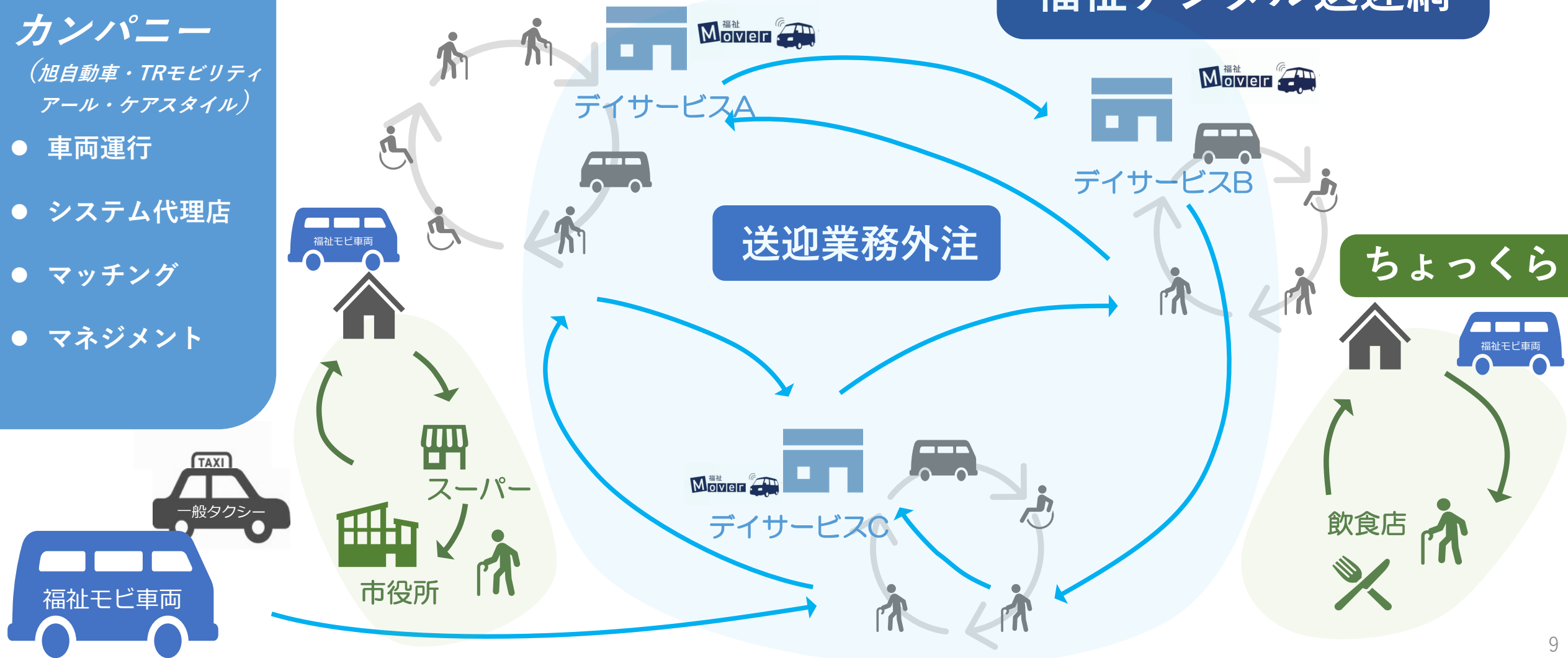
送迎委託実証実験モデル（非通所日）

モビリティ カンパニー

（旭自動車・TRモビリティ
アール・ケアスタイル）

- 車両運行
- システム代理店
- マッチング
- マネジメント

福祉デジタル送迎網



“ちょっくら”から始まる活動の範囲と手段の拡がり

福祉デジタル送迎網



公共交通網



“ちょっくら”
(ちょっとした暮らし)

3つの目的とゴール

目的①

通所日に利用し慣れた福祉デジタル網や福祉モビリティ車両、一般タクシーを非通所日にも活用できる体制を構築し、“ちょっくら行ってくるわー”と気軽に行うちょっとした暮らしを少しずつ増やすこと

目的②

従来の暮らしから増えた活動によって、自然と心身機能を高め、暮らしそのものを健康増進のツールとして活用すること

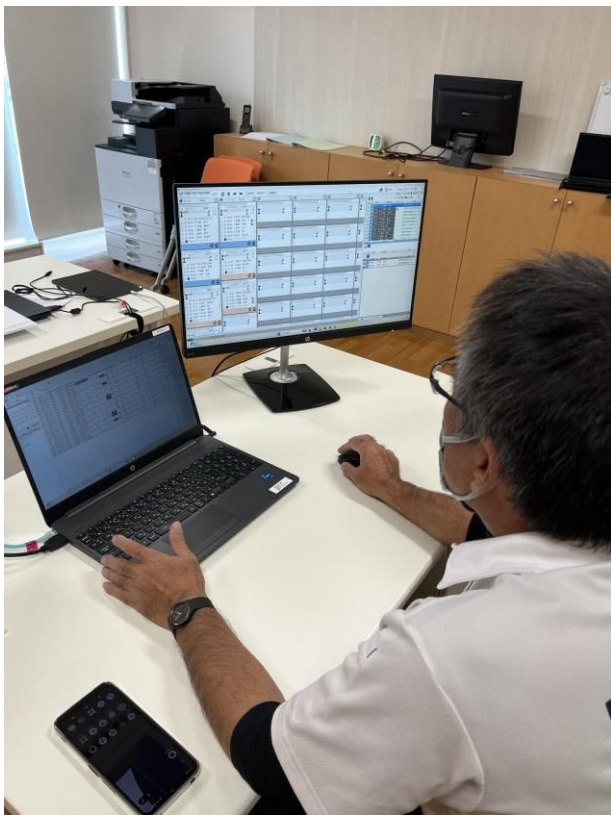
目的③

“ちょっくら”を通じて獲得した身体機能と交通手段への慣れを既存の地域交通網であるシータクやシーバス、公共バスなどの利用へと繋げていくこと

ゴール

“ちょっくら”を通じてWellbeingな状態を獲得する

実証風景 “ちょっくら”



福祉ムーバー
(PC) による
配車



福祉ムーバー
(アプリ) による
運行



乗降介助

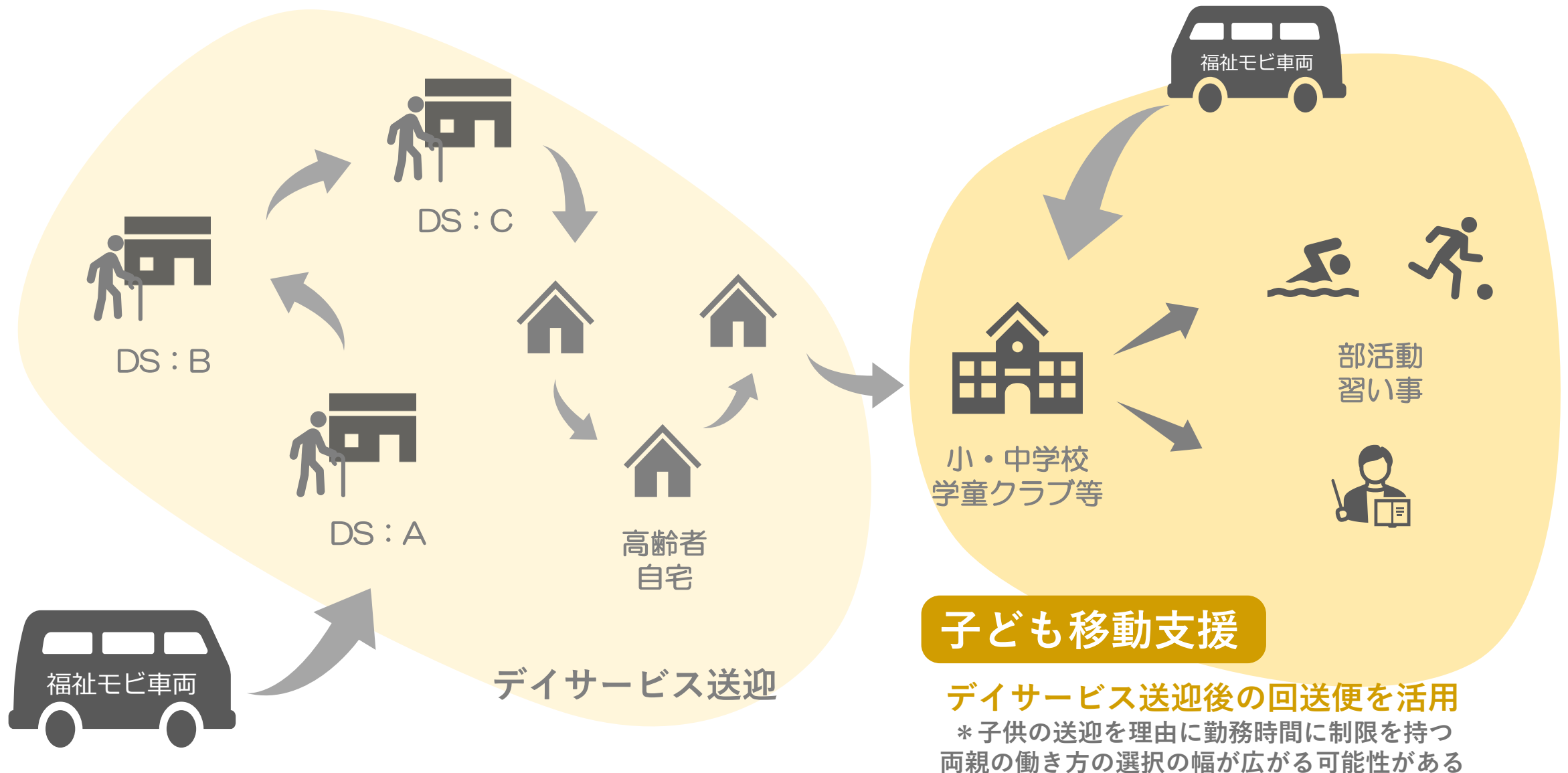


目的地にて降車

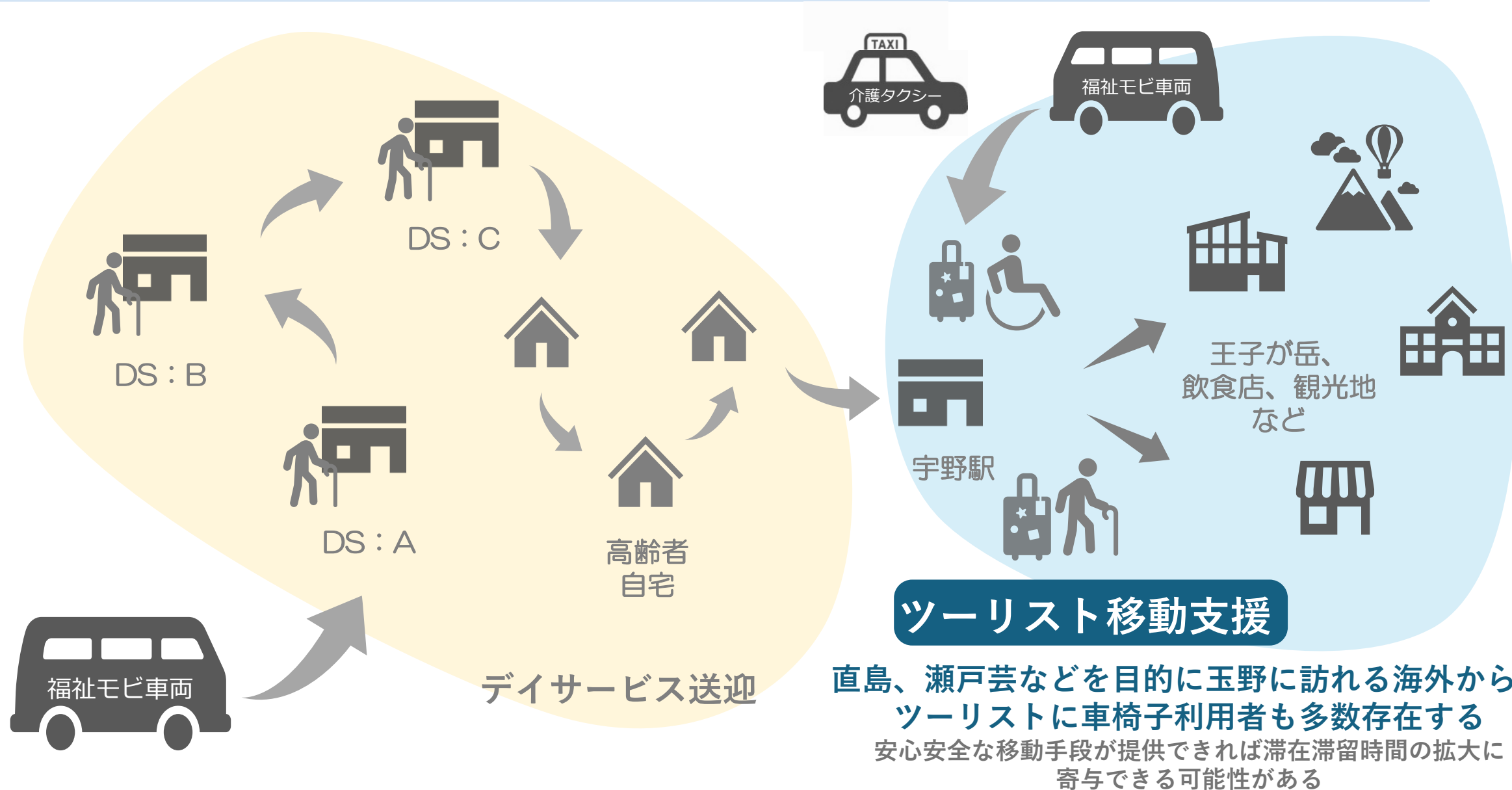
ちょっくら ➡ 特定旅客
デイサービス共同送迎 ➡ 福祉限定一般旅客（介護タクシー）

* 送迎計画の作成、車両の稼働状況管理、ドライバーへのルート指示は
どちらも「福祉ムーバー」で実施

他分野活用案：子ども移動支援



他分野活用案：障害を有するツーリストの移動支援



他分野活用案：外出リハビリサービス



共同送迎、ちょっくら実証実験拡大モデル

モビリティ カンパニー

(旭自動車・TRモビリティ
アール・ケアスタイル)

- 車両運行
- システム代理店
- マッチング
- マネジメント



1

デマンド機能付共同送迎システムの構築

2

介護事業所の送迎委託による
送迎事故リスク等の経営課題の解消

3

高齢者が移出支援サービス“ちょっくら”を用いた
外出機会の創出による健康増進と地域経済の活性化

4

新たなビジネスモデル構築と
他分野からの交通人材の獲得による公共交通網の充実

5

他事業・他分野への活用

6

共創パートナーによる推進会議の実施基盤を用いた
官民連携型の新たな地域交通の協議体発足

参加者の役割

旭自動車さま

【9月～11月末】 コールセンターで予約受付を行った一般タクシーの運行・運行管理
1日1名（1.0H×2回運行）×月20日を計画

TRモビリティ

【8月～2月末】 デイサービスの共同送迎
【8月～12月末】 “ちょっくら”コールセンターの運営
【9月～11月末】 コールセンターで予約受付を行った介護タクシーの運行
1日2名（1.0H×4回運行）×月22日を計画

アール・ケアスタイル

【9月～11月末】 コールセンターで予約受付を行った福祉有償運送の運行
1名（1.0H×2回運行）×月10日を計画

アール・ケア

【8月～2月末】 デイサービスの共同送迎の配車
【8月～12月末】 “ちょっくら” コールセンターの運営・参加者の募集

岡山トヨタシステムサービスさま

【7月】 システム（福祉ムーバー）導入
【8月～2月末】 システムサービス提供、サポート、定量分析（1月）

アンズケアさま

【8月～2月末】 企画・運営支援

玉野市さま

玉野市社会福祉協議会さま

【8月～11月末】 “ちょっくら” 多分野実証参加者の募集

運行日報の記録

経費清算の根拠資料の保存